

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 14 日作成)

小委員会名	アジア地域における建築環境と Sustainable Development 検討小委員会	主 査 名：銚井 修一 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：稲田 達夫 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2011 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>[目的]・アジアの都市と農村部における住宅エネルギー消費量の実態の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住環境要因と住宅エネルギー消費の関連性の明確化 ・ライフスタイルを考慮した将来予測 ・エネルギー消費の増加を押さえつつ快適で健康な室内環境を実現するための省エネルギー政策の基礎となる資料の整備 <p>[2009] ①住宅居住環境の調査、②自然エネルギー利用に関する調査、③アジアにおける建築設備設計用気象データの開発、④中国の気候変動対策</p> <p>[2010] ①住宅居住環境の調査(継続)、②自然エネルギー利用に関する調査(継続)、③アジアにおける空調用エネルギー消費の予測、④数値計算に基づく住宅用エネルギー消費の分析の実施、⑤アジアにおける住宅省エネルギー対策の検討</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：委員公募の有無：有(2名)</p> <p>主査：銚井修一(京都大)、幹事：北原博幸(トータルシステム研)、委員：許雷(東北工大)、久保田徹(広島大)、高偉俊(北九州市大)、高口洋人(早稲田大)、張晴原(筑波技術大)、張海燕(大阪大)、外岡豊(埼玉大)、中上英俊(住環境計画研)、中村美紀子(住環境計画研)、羽山広文(北海道大)、吉野博(東北大)、吉野泰子(日大)</p>	
設置 WG	無	
2010 年度予算	85000 円	<p>ホームページ公開の有無：有</p> <p>委員会 HP アドレス：http://news-sv.ajj.or.jp/tkankyo/s4/</p>

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. シンポジウム：名称および資料名 「アジア地域における建築環境と Sustainable Development アジア地域の建築環境の実態」 参加者数 39 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>計画通り実施できた。</p> <p>①住宅居住環境の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア各国の住宅における内温湿度測定やエアコン使用状況調査などを実施した。 <p>②自然エネルギー利用に関する調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チベットや黄土高原など異なる気象条件での自然エネルギー利用の調査を実施した。 <p>③アジアにおける空調用エネルギー消費の予測</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計データを基に中国各省の住宅、オフィスや商業施設などの消費原単位を求めた。 <p>④数値計算に基づく住宅用エネルギー消費の分析の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとの断熱性能などを考慮したモデル住宅により、エネルギー消費分析を実施した。 <p>⑤アジアにおける住宅省エネルギー対策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒冷地では地域暖房の個別制御方式の導入が省エネルギーに有効なことなどを示した。
委員会活動の問題点・課題	1. 無

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。